

## 第10回会津若松市環境大賞受賞者一覧

(敬称略)

| 部門名  | 個人・団体  | 団体名等 | 選考結果  |   |
|------|--------|------|---|---|
| 環境大賞 | 個人     | 野中 正 | 20年以上に渡り、自宅近くの別川緑道の整備や草刈、樹木の剪定、町内の花壇の整備などを積極的に行っている。これらの美化活動をとおして、町内の若い世代に脚力の使い方や、樹木の剪定、枝の束ね方、花壇の整備などの指導も行っている。また、町内の各住宅の垣根などから飛び出した枝などの伐採に協力し、防犯灯の電球の交換の手配や、側溝の整備、道路の危険箇所の補修など、町内全体の美化や環境保全に気を配っている。高齢でありながら、どんな場面でも積極的に環境活動に取り組む姿勢は、地域の人にはもちろん市民全体の模範となる姿であり、高く評価できる。 |   |
| 環境賞  | 循環部門   | 個人   | 長尾 精悟 ・ 長尾 征子   | 門田地区環境美化推進協議会の一員として、毎年、定期的に門田小や城南小で児童たちに花壇の植栽の指導・除草活動を行っている。また、若松五中前の歩道1キロメートルにわたり、マリーゴールドを植え、その植栽前には除草剤の散布や肥料撒き、植栽後には自ら草刈機を持参しての草むしりなど、積極的に行っている。また、町内のごみの減量化を目指し、週に1度自家用車で夫婦一緒に資源物の回収を実施。日常的には散歩中に道路に落ちている空き缶やごみを拾う、空き地の草刈を行うなど夫婦そろって環境美化に対する意識が高い。 |
|      | 循環部門   | 団体   | 滝沢町一丁目町内会   | 毎月第2日曜日に、町内の道路のごみ拾いや側溝の泥上げ、草むしり、植木の間のたばこの吸殻や空き缶の回収などを続けている。毎回参加者は70人を超え、清掃範囲は千石通りの歩道をはじめ、町内一円くまなく実施しており、その範囲は1km以上に渡る。また、清掃活動に合わせ、カンやビン、ダンボールの資源物回収を実施。自力で持ち込めない人たちがいる場合は、役員たちが自家用車で各自宅をまわり、資源物を回収するなど、町内全体に環境保全の意識が根付いている。                           |
|      | 美化部門   | 個人   | 山浦 伸一   | 城西地区環境美化推進協議会の一員として3月～12月の間、城西地区内の清掃活動、城西小との共同清掃活動などに関わっている。環境美化推進協議会の役員としての自覚が高く、地区内の清掃活動にはほぼ毎週参加している。また、西若松駅内の落書きの消去、トイレの清掃、駅周辺で行われるイベント終了後の清掃活動なども実施。月に1度町内パトロールを行いごみのポイ捨てや犬ふんの放置をなくすよう住民の意識啓発にも取り組んでいる。   |
|      | 美化部門   | 団体   | 栄町下四丁目二之区町内会  | 毎月2回、国道118号沿い歩道の清掃活動を実施している。平成16年からは毎年6月になると歩道沿いにブランターを設置し、9月ころまで、役員6名が交代で朝・晩と花の水遣りを実施している。また、ごみ分別収集の徹底を目指し、役員がごみ収集日に集積所に3名体制で立会い、適正にごみを排出するよう住民に指導。住民が一丸となって「きれいな街づくり」をスローガンに町内の環境美化に尽力している。   |
|      | 環境教育部門 | 個人   | 五十嵐 久政  | 側道に花苗を植栽したり、公共施設にマリーゴールドの鉢植えを配るなどの緑化活動を実施。また、犬・ねこのふんの放置が問題となっていることから、毎年犬ふんの持ち帰りを呼びかける看板を作成・配布し、地域住民の環境保全の意識高揚に貢献している。さらには一箕小、松長小の生徒たちと共同清掃活動や堆肥作り、花壇整備を行うなど、指導的役割を十分に果たしている。  |
|      | 自然環境部門 | 個人   | 高久 健治   | 自宅前に広がる旧湯川河川敷(約600m)の除草作業をほぼ毎日実施しており、河川周辺の自然環境の保全に務めている。また、同じく自宅前の公園(1,700㎡)では、子供たちが安全に遊べるよう、根の張る植物を1つ1つ丁寧に抜き取るなど、地道な除草活動を続けている。公園周辺の花壇の手入れや県営住宅の緑地の草刈も率先して行うなど、環境保全に対する意識の高さ、また長年一人で続ける根気強さなどは他の模範となり、評価に値する。  |